

令和6年度久間地区地域コミュニティ総会開催 久間地区をみんなで盛り上げる1年に

4月19日(金)夜、久間小学校体育館に於いて令和6年度久間地区地域コミュニティ定期総会を開催しました。各地区からの代表20名及び関係諸団体代表17名の代議員で総会は構成されます。代議員37名中出席数31名・委任状提出5名・欠席2名で総会は成立しました。コミュニティ役員も15名参加して総会が始まりました。

松尾副会長の開会宣言の後、志田会長の挨拶、ご臨席いただいた村上市長様・諸井市議会議員様の祝辞と続き、議長を選出。山田龍介氏にお願いして議事に入りました。今回の総会では、各部会の事業報告をそれぞれの部会長が担当。少し時間はかかりましたが、やはり一年間部会を引っ張ってきた担当者から直接報告できたよかったですと感じました。5年度の事業報告や決

算報告及び監査報告、6年度の事業計画と予算案を提案し、質疑応答の後承認されました。地域コミュニティはその予算を市から交付金としていただき、活用しています。物価上昇が続く中、交付金はほぼ前年並みという状態が続きますが、各部会とも創意工夫しながら、地域の活性化、住みやすい街づくりを目標に頑張っています。課題は志田会長も総会冒頭の挨拶で言われたように、コミュニティ部会員を増やすことです。高齢化が進むのは久間地区でも例外ではありません。

みんなが、できることをできるときに参加する。そんな楽しく、気負わない活動で今年も役員を中心に活発なコミュニティにしていきたいものです。



挨拶をする志田会長



祝辞を述べる村上市長



総会出席の代議員の皆さん

承認された6年度役員

頑張ります!

役職	氏名	地区名	備考
会長	志田 勝英	牛間田	再任
副会長	松尾 一義	堤ノ上	再任
	坂本 美和子	光 武	再任
会計	上西 満	のぞえ	再任
監事	中野 正	北志田	再任
	江口 文男	南下久間	再任
顧問	中山 廣文	西 山	再任
	光武 一行	南下久間	再任

※各部会の事業計画は6月号で

地域とのかかわりより、個人、家族単位での活動重視がここ数十年の流れですが、今後は少子高齢化社会の訪れ、地方の衰退、自治体の弱体化など避けて通れない難問が待ち受けているように思われます。久間地区にコミュニティが発足して15年。その重要性はこれからますます増してくるでしょう。地域で共に生きることには喜びを感じる、感じてもらえる活動をコミュニティは目指しています。気楽な気持ちで少しでも「久間を盛り上げる活動」に参加していただく方を募集しています。

久間小学校だより

令和6年度入学式

4月10日（水）ピリツとした空気が春を感じさせる好天の中で、令和6年度久間小学校入学式が行われました。男子25名、女子14名計39名の新一年生の誕生です。今年はすべての地区から新入学生がいました。「皆さん入学おめでとうございます」と坂井校長先生が一年生に呼びかけ「挨拶をしましょう。元気に歩いて登校しましょう」という校長先生の式辞の途中、久間小が誇る「ガンバルンジャー」が登場。「学び、強く、優しく」を一年生に呼びかけました。6年生を代表して山口蘭々さんが、「わからないことはなんでも上級生に聞いてください」と頼りになる言葉で一年生に声をかけてくれました。一年生を代表して中島歌芳さんが校長先生から教科書を受取りました。最後に校歌を全員で合唱。一年生の希望溢れる顔が印象的な入学式でした。



39名の新一年生



新入生に教科書給与



久間っ子のヒーロー登場！

交通安全教室

新入学した1年生に交通ルールを守って安全に登下校するための「交通安全教室」が4月15日（水）に久間小学校で開催されました。例年は実際に志田原交差点まで歩き、横断歩道のわたり方、信号のある交差点でのわたり方など体験するのですが、雨天のため体育館で模擬的に交差点のわたり方など体験しました。毎年、鹿島警察署・児童民生委員さん・嬉野市総務防災

総務・広報部会

青パト講習が開催されます

5月27日（月）に「青色防犯パトロール講習会」が久間小体育館で開催されます。警察署の担当職員による講習会を受講済みの人だけが青色の回転灯を付けて地区内を廻ることができます。地区内で依頼された方からPTAの保護者さんに受講していただきます。久間地区では昨年度67日もパトロールしていただいています。



子どもたちを交通事故から守るばかりでなく、地域における犯罪の抑止にも役だっています。青パト車を見かけたら「ご苦労様！」と笑顔で手を振りましょう。

課職員さんなど多くの方が、子供たちが事故に遭わないようにと教室を開催してくれまます。子供たちはしっかりと話を聞いて、交通ルールを学んでいました。



事務局長雑感

最近では政治家から芸能人、ユーチューバーや普通の人たちまで様々なことで「炎上」したり「ネット」でたかれる」とか集中的にバッシングを受けることが多い。バイト先での不適切な動画をSNSで発信して瞬く間に炎上、会社から解雇だけでなく人生が壊れる事態になる事案が後を絶たない。若者だから、未熟だからで済まされない世界に現代はなっているようだ。「そのくらいのことでは人生棒に振るて可哀そうかたい」と思う。世間はそこまで厳しいのか。動画でいくら拡散されても、醤油差しから直接ねぶって口にしたことの被害はほとんどないと思えるが、された会社は炎上の結果で被害額を算定する。失敗しながら成長するのが当たり前と思うのだが、どうしてダメなんだらう。「不寛容な社会」は生きづらく心休まらない。インターネットなど便利な物を手に入れた代償は若者にとつてこのほか大きいのかもしれない。

青色防犯パトロール活動担当地区のお知らせ

午後3時15分～4時15分まで

5月 牛間田・牛坂
6月 中久間

よろしく
お願いします



※PTA も月2回パトロールしています